

2022 年度

法 人 事 業 報 告 書 ~~＝(案)＝~~

社会福祉法人 からし種の会

1. 法人の基本理念

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

からし種の会は、キリストの愛と自由の精神に基づき、利用者人権とその方の意思の尊重を重視していきます。安心して利用いただける環境づくりに努めるとともに利用者との契約に基づき、利用者本位の質の高いサービスが総合的に提供されるよう創意工夫していきます。

それにより利用者が個人の尊厳と意志決定を尊重した、安全安心で快適な自立した生活を営むことができるよう支援していきます。また、社会福祉法人としての公共性のもとに、地域社会に開かれた運営をめざします。

2. 法人の経営方針

法人の理念に沿った実践を展開していくためには、安定した持続可能な経営基盤を目指す財務収支の均衡と高い専門性をもって利用者や地域に仕える人材育成が不可欠です。一方で、介護人材の確保のためには、快適な職場環境の形成が不可欠です。そのことから次の経営方針を定め、事業を推進していきます。

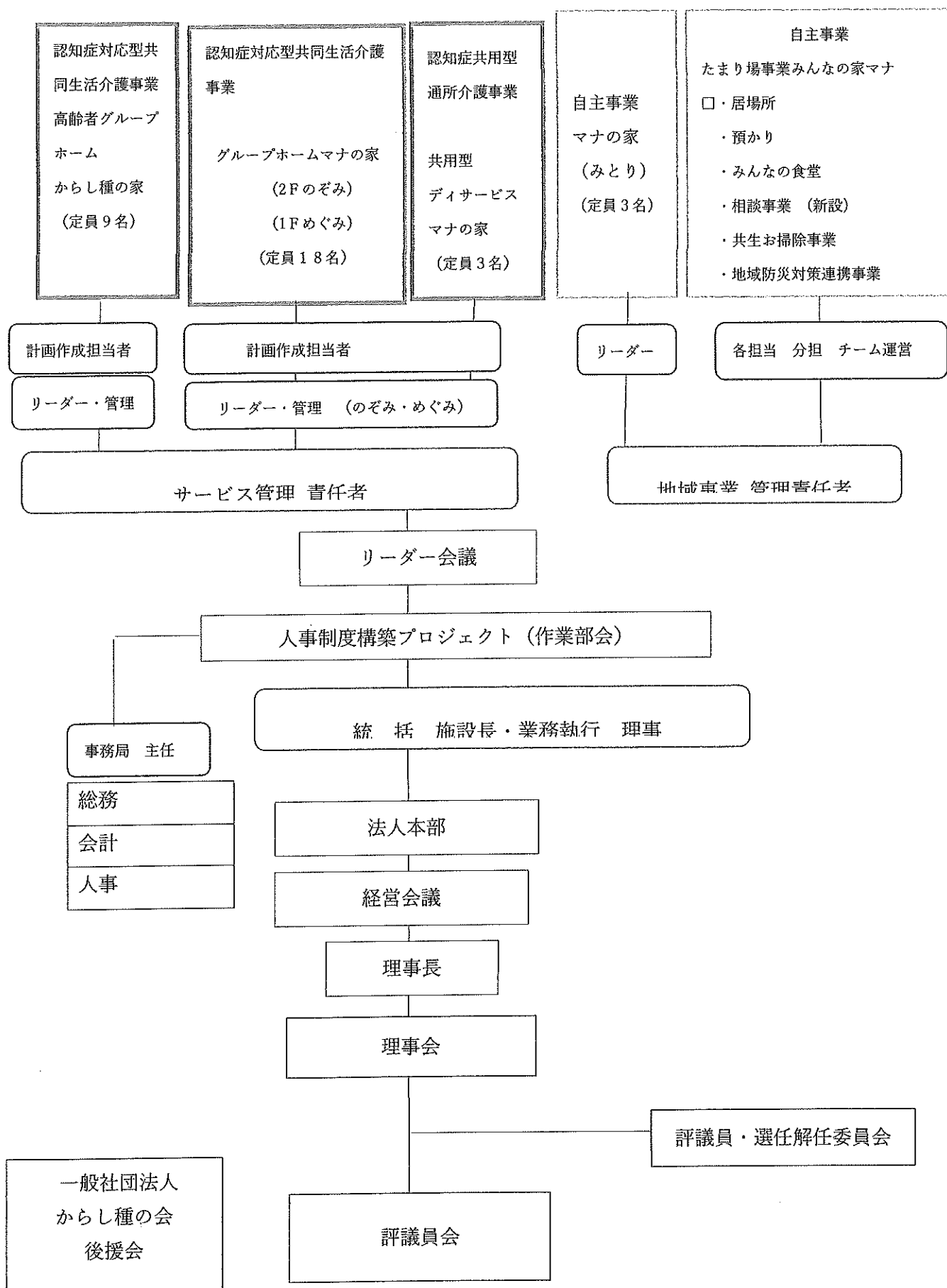
- 1 利用者にとって、ご家族にとっても安全、安心、快適な生活づくり
- 2 職員にとって、安全、安心、働きがいのある職場環境づくり
- 3 行政、医療、福祉とのよい連携
- 4 地域の家づくりと共生
- 5 持続可能な財政基盤の確立

4 組織図

2022 年度 社会福祉法人 からし種の会 組織図表

社会福祉事業

公益事業



5. 評議員及び役員等の構成

評議員	理事	監事	評議員・解任委員会
7 名	6 名	2 名	4 名

6. 評議員会、理事会開催実績

評議員会	第 1 回	2022 年 6 月 27 日	2021 年度事業報告、2021 年度会計決算報告、社会福祉充実計画、消費税の申告・納税、その他

理事会	第 1 回	2022 年 6 月 11 日	2021 年度事業報告、2021 年度会計決算報告、社会福祉充実計画、消費税の申告・納税、定時評議員会の招集、その他
	第 2 回	2022 年 1 月 16 日	2022 年度補正予算、諸規程の改訂、その他
	第 3 回	2022 年 3 月 21 日	2023 年度事業計画、2023 年度予算、人事、諸規程の新設、その他

7. 法人借入金償還計画（元金）

借入先	当初借入額	2023 年 3 月末 償還済額	当期償還額	2023 年 3 月末 借入残額	備考
福祉医療機構	63,200,000 円	43,146,000 円	3,492,000 円	20,054,000 円	既存マナの家
	85,000,000 円	18,962,000 円	4,452,000 円	66,038,000 円	増床マナの家
計	148,200,000 円	62,108,000 円	7,944,000 円	86,092,000 円	

8. 経営会議（2022 年度）

実施回	実施日	検討内容	人数
第1回	2022 年 5 月 20 日	2021 年度決算状況について、決算書類について(法人全体・各事業所)、社会福祉充実残額について	4 名
第2回	2022 年 7 月 25 日	2022 年 4 月・5 月・6 月の収支状況、予算執行状況、社会福祉充実残額について	4 名
第3回	2022 年 9 月 6 日	2022 年 7 月分収支状況、予算執行状況、水道光熱費使用状況について、社会福祉充実残額について	5 名
第4回	2022 年 10 月 31 日	2022 年 8 月～9 月分収支状況、上半期予算執行状況、下半期見込、社会福祉充実残額について	4 名

第5回	2022年12月19日	2022年10月～11月分収支状況、予算執行状況について、 2023年3月末の収支見込、社会福祉充実残額について	4名
第6回	2023年2月24日	2022年12月～2023年1月分収支状況、予算執行状況、2023 年3月末見込、社会福祉充実残額について	5名

9. 管理者会議（2022度）

実施回	実施日	主な協議・報告事項	人数
第1回	2022年4月26日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について その他協議事項	6名
第2回	2022年5月30日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・コロナ禍での面会について、その他協議事項	6名
第3回	2022年6月20日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・コロナ禍での面会について、その他協議事項	6名
第4回	2022年7月25日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・コロナ禍での面会について、その他協議事項	6名
第5回	2022年9月6日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・コロナ禍での面会について、その他協議事項	6名
第6回	2022年9月25日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・その他協議事項	6名
第7回	2022年10月6日	・バザー担当ミーティング 役割分担その他	6名
第8回	2022年11月21日	・クリスマス礼拝・クリスマス会について ・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・その他協議事項	6名
第9回	2022年12月26日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・その他協議事項	6名
第11回	2023年1月24日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・その他協議事項	6名
第12回	2023年2月26日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・その他協議事項	6名
第13回	2023年3月24日	・ご利用者の近況状況、各事業所の状況について ・各事業の予算管理について ・コロナ禍での面会について、その他協議事項	6名

10. 2022 度共生お掃除事業 実施報告

	実施日	場所	作業内容	参加人数
1	2022.4.1	地階いこい	掃除機をかける/床のモップ掛け/椅子、机、手すり、スイッチ部分を消毒/ゴミ回収	2 名
		地階トイレ	床掃除/便器、便座拭き上げ/洗面台、鏡磨き/ゴミ回収	
		庭	草取り/草を袋に入れ、収集場所に捨てる	
2	2022.4.8	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)、窓テープ剥がし	5 名
3	2022.4.15	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ) 窓拭き、落ち葉拾い	4 名
4	2022.4.22	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	5 名
5	2022.5.6	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ) 駐車場清掃	2 名
6	2022.5.13	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
7	2022.5.20	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
8	2022.5.27	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ) 窓ふき、駐車場清掃	3 名
9	2022.6.3.	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
10	2022.6.10	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
11	2022.6.17	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3 名
12	2022.7.1	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3 名
13	2022.7.8	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3 名
14	2022.7.22	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3 名
15	2022.7.29	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
16	2022.10.5	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
17	2022.10.12	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3 名
18	2022.10.19	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
19	2022.10.26	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
20	2022.11.2.	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
21	2022.11.9	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
22	2022.11.16	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名
23	2022.11.30	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4 名

24	2022.12.7	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
25	2022.12.16	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
26	2022.12.28	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	2名
27	2023.1.11	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)、窓拭き	4名
28	2023.1.18	地階いこい/地階トイレ	((前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
29	2023.2.1	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)、一部除雪	3名
30	2023.2.8.	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
31	2023.2.15.	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)、一部除雪	4名
32	2023.2.22	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)、落ち葉拾い	4名
33	2023.3.8	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)、窓拭き	4名
34	2023.3.15	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ) 玄関窓拭き	4名
35	2023.3.22	地階いこい/地階トイレ/庭	((前回の各場所での作業内容と同じ)、窓拭き	4名
36	2023.3.29	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3名

11. ハラスメント防止に向けて (2022年度)

実施回	実施日		人数
第1回	2022年8月8日	社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	3名
第2回	2022年8月22日	社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	3名
第3回	2022年12月1日	新潟中央法律事務所 弁護士 大澤 理尋 様	2名
第4回	2022年12月4日	社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	2名
第5回	2022年12月4日	新潟中央法律事務所 弁護士 大澤 理尋 様	2名
第6回	2022年12月9日	社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	2名
第6回	2022年12月9日	社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	2名
第7回	2023年2月6日	社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	2名
第7回	2023年2月6日	社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	2名
第8回 研修	2023年2月27日	ハラスメント防止研修会(管理者) 社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	5名
第9回	2023年3月15日	社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	2名
研修	2023年3月1日 2023年3月2日 2023年3月3日	ハラスメント防止研修会(全体研修会) 社会保険労務士法人 ワーク社労士事務所 特定社会保険労務士 五十嵐 保 様	職員 全員

2023年4月1日より、職員がいつでも相談出来るようにハラスメント相談窓口を設置した。

福祉なんでも相談 実施日

	日時	担当名	件数(件)
第1回	2022年4月4日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第2回	2022年4月11日 10:00~13:00	児玉 幸	0
第3回	2022年4月18日 10:00~13:00	小淵 康而	1
第4回	2022年4月25日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	0
第5回	2022年5月2日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第6回	2022年5月9日 10:00~13:00	児玉 幸	1
第7回	2022年5月16日 10:00~13:00	小淵 康而	0
第8回	2022年5月23日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	0
第9回	2022年5月30日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	0
第10回	2022年6月6日 10:00~13:00	佐藤 静子	1
第11回	2022年6月13日 10:00~13:00	児玉 幸	0
第12回	2022年6月20日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	0
第13回	2022年6月27日 10:00~13:00	小淵 康而	0
第14回	2022年7月4日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第15回	2022年7月11日 10:00~13:00	児玉 幸	0
第16回	2022年7月18日 10:00~13:00	齋藤 優樺	0
第17回	2022年7月25日 10:00~13:00	小淵 康而	0
第18回	2022年8月1日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第19回	2022年8月8日 10:00~13:00	児玉 幸	0
第20回	2022年8月15日 10:00~13:00	齋藤 優樺	0
第21回	2022年8月22日 10:00~13:00	小淵 康而	0
第22回	2022年8月29日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	0
第23回	2022年9月5日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第24回	2022年9月12日 10:00~13:00	児玉 幸	0
第25回	2022年9月19日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	0
第26回	2022年9月26日 15:00~17:00	小淵 康而	0
第27回	2022年10月3日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第28回	2022年10月10日 10:00~13:00	児玉 幸	0
第29回	2022年10月17日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	2
第30回	2022年10月24日 15:00~17:00	小淵 康而	0
第31回	2022年10月31日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	0
第32回	2022年11月7日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第33回	2022年11月14日 10:00~13:00	児玉 幸	0

	日時	担当名	件数(件)
第 34 回	2022 年 11 月 21 日 10:00~13:00	齋藤 優樺	0
第 35 回	2022 年 11 月 28 日 15:00~17:00	小淵 康而	0
第 36 回	2022 年 12 月 5 日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第 37 回	2022 年 12 月 12 日 10:00~13:00	児玉 幸	0
第 38 回	2022 年 12 月 19 日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	0
第 39 回	2022 年 12 月 26 日 15:00~17:00	山崎 ハコネ	0
第 40 回	2023 年 1 月 9 日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第 41 回	2023 年 1 月 16 日 10:00~13:00	齋藤 優樺	0
第 42 回	2023 年 1 月 23 日 15:00~17:00	山崎 ハコネ	0
第 43 回	2023 年 1 月 30 日 10:00~13:00	山崎 ハコネ	0
第 44 回	2023 年 2 月 6 日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第 45 回	2023 年 2 月 13 日 10:00~13:00	児玉 幸	0
第 46 回	2023 年 2 月 20 日 10:00~13:00	齋藤 優樺	0
第 47 回	2023 年 2 月 27 日 15:00~17:00	山崎 ハコネ	0
第 48 回	2023 年 3 月 6 日 10:00~13:00	佐藤 静子	0
第 49 回	2023 年 3 月 13 日 10:00~13:00	児玉 幸	0
第 50 回	2023 年 3 月 20 日 10:00~13:00	齋藤 優樺	0
第 51 回	2023 年 3 月 27 日 15:00~17:00 時間外に相談あり。更に次週につなぐ	小淵 康而 齋藤 優樺	1

〈相談内容〉

- ・息子の就職が心配。
- ・自身に持病があり、食事制限が大変。
- ・近所で杖歩行している人がいて心配。歩行器を勧めている。ここに連れてきたいが聞いてくれない。
- ・母が施設に入っていて心配。
- ・結婚したい相手がいた。その人と結婚していればよかった。結婚していたらこうなっていなかったかもしれない。
- ・親戚にいろいろ言われる。

社会福祉法人 からし種の会 2022 年度 法人事業報告

総括

2022 年度は、新型コロナウイルス感染症対策 3 年目となり、面会中止、臨時面会室の設置や利用時間の制限、抗原検査の実施などが引き続き続きました。新型コロナワクチン接種を 2 回完了しています。利用者の感染は幸いありませんでしたが、職員・家族等の感染もあり、施設内感染防止（手洗い・うがい・マスク・消毒・喚起・三密を避ける、グローブ・ゴーグル着用、抗原検査の実施に徹底して取り組みました。

2022 年度の決算では、法人全体の事業活動収入合計は 148,961,042 円、事業活動支出計は 134,574,015 円で、事業活動資金収支差額は 14,387,027 円になり、2023 年 3 月末の当期資金収支差額は 4,140,367 円となりました。又法人全体の純資産の合計は、243,935,974 円となりました。当期活動増減差額については、社会福祉事業の当期活動増減差額合計は 6,634,397 円（：GH マナの家 2,558,282 円、GH からし種の家 4,076,115 円）で、地域福祉事業の当期活動増減差額が△4,163,276 円であったため、全体の当期活動増減差額合計 2,471,121 円という結果になりました。経営会議において、予算管理、社会福祉充実計画（3 年目）管理など各事業進捗状況の確認、経営点検などによる経営状況の把握、財務基盤の充実に努めました。

各事業運営においては大きな変化はなく、現状維持に終わりました。平均入居年数 8 年前後の利用者による医療・重度化により入院・特別養護老人ホーム等への移動が目立ち、空室期間の長期化が課題となりました。職員の離職や人材不足が解消されないまま、職場環境においてハラスメント防止にむけた対応に追われつつも、なかなか改善できずに異動・離職に今日までつながっています。人材確保や利用者の稼働率をあげることに以上日々の業務に追われているのが現状で、組織の見直し、職員の役割負担や業務の見直し、体制の可視化を整備していくことが急務となりました。

そうした実情がありながら、地域のご理解とご協力によって新しい試みも始まっています。1 つが西有明町に拠点を持つマナの家の庭のスペースに土を入れ、畑の場所として活用したことで生まれた空間です。バジル、トマト、ズッキーニ、カボチャ、サツマイモの苗が植えられ、畑にはベンチを置くなどして、利用者や地域の方々も足をとめて、畑を通じた会話が多く生まれました。取り立ての野菜を食卓に、みんなの食堂やバザー等で活用することもできました。2 つ目が 11 年目を迎えた恒例の「西有明地域住民作品展と福祉バザー」は、自治会の働きのお陰で、別紙のとおりバザーロードが生まれました。地域との合同ミーティングを重ねながら、地域の広場となり、地域、こども、学生、利用者やその家族、職員たちにとっても楽しい時間を共有することができました。3 つ目が地域住民参加のオンライン礼拝・祝会を持ち、手品や、ブラックシアターなど催しがありました。

多くの課題が重責しています。それでも 2022 年度報告に至りましたことを、深く感謝をしたいと思います。次年度に引継ぎながら忠実に使命を全うしていきたいと願います。

2022 年度 法人事務局事業報告(案)

<法人事務局 具体策>

- ①事務局としての業務内容を理解し、より専門性を高めるよう心掛けた。
- ②事務局内での連携をはかり、各業務が適切かつ迅速に行われるように努めた。
- ③事務局の定期ミーティングにより、業務予定や計画、他社への連絡等を確認し合い情報共有した。
- ④日々、行政機関等からのメールを確認し、各事業の管理者へ連絡すると共に必要書類を作成し提出した。
- ⑤研修等の案内は、各事業の管理者及び受講者へ通知し、必要事項の連絡を行った。

<総務>

- ①理事会及び評議員会等が円滑に行われるように役員との連絡、相談をスムーズに行う事が出来た。
- ②ワーク社労士事務所との顧問契約により、労務に関し職員が働きやすい労働条件になるよう諸規程等について協議してきた。
- ③助成金等の申請では、社会保険労務士と相談を重ね、適正な書類作成と申請に努めた。
- ④人事評価制度について、ワーク社労士事務所の指導により、人事評価規程を 2022 年度 4 月 1 日から施行し、評価シートへの記入や全職員へ面接を行う等、書類作成や職員への説明に関し、スムーズに実施できるように努めた。

<会計>

- ①法人内での会計処理について、複数の職員でのダブルチェックを行っている為、内容や金額等の入力ミスを防ぐことが出来た。又、残高等も把握出来ている。
- ②さくら総合会計の巡回監査により、会計の適正化を図っている。
- ③さくら総合会計との経営会議を隔月ごとに開催し、会議出席者で経営状況を確認した。又、年度末の収支見込や社会福祉充実計画の運用、充実残額についても協議してきた。
- ④入居者の退居後、次に入居されるまで期間を要しているため、収入が減少している。対策として、みんなの介護等の施設情報サイトへ登録し、施設を探している方や外部に対し情報発信を行っているが、問い合わせ・見学はあるものの、入居につながっていない。

<人 事>

- ① 新人職員の採用にあたり、各事業の管理者と連携し育成指導をしていく。
- ② 職員の求人について、新卒採用につながるよう各大学の採用担当者の方と面談させていただいた。又、マイナビ等と契約し、求人サイトへ登録すると共に、申込者に対し法人説明会を開催している。

<ハラスメント防止にむけて>

- ① 職場内でのハラスメント防止を図る為、ハラスメント防止についての研修会を開催し、全職員出席のもと社会保険労務士の五十嵐さんから説明していただいた。
- ② ハラスメント防止窓口を 2023 年 4 月 1 日に設置し、相談があった場合の対応や対策については、専門家からご指導をいただきながら、職員が働きやすい職場環境となるよう問題解決にむけて取り組んでいきたい。

<その他>

- ① 法人のネット環境や共有フォルダーについて、より機能的にし、セキュリティを強化していく計画であったが、時間的な余裕がなく整備に至らなかった。2023 年度で行っていただけるように努めたい。

1 2. 2022 年度 新規事業 報告

1. 社会福祉連携推進法人認定に向けた整備事業

2022 年 4 月から「社会福祉連携推進法人制度」が施行されました。当法人においてもそのあり方について検討すべく、整備事業として掲げました。しかし、県内外の動きをみますと県内において認定された法人は 2023 年 6 月現在で 1 法人（一般社団法人）、厚生労働省のウェブサイト上の一覧表（2022 年 6 月現在）で 2 法人のみであった。まだまだ認知度も低く、社会福祉法人の大きな動きにもなっていない今、当法人において、急いで整備していく必要がないと判断し、事業は取り組みないまま終わった。また余裕もなかった。

2. 認知症の人のその人らしい暮らしの再構築事業

本事業の目的は、認知症の人の暮らしの場であるグループホームの日常生活を見直し、寄り添える職員の意識改革（3 年計画）を目指していくことである。この事業の目的を管理者会議他で各ホームに伝える中で、テーブル等の生活家具の見直し、配置換え、花を飾る、落ち着く居心地の良い共有スペースの空間環境の工夫・整備がそれぞれのホームで適宜に実施されていた。また、本目的に合った DVD 教材をそろえることができた。全体研修会を公開講演会という形で 2022 年 8 月 12 日に実施した。

題名は「老いとぼけの世界～認知症を考える～」で社会福祉法人福岡光福社会「特別養護老人ホームよりあいの森」の施設長村瀬孝生氏を講師にお迎えし、老いや認知症を抱える認知症の人の世界においては、特に、その時間と場所が「今」「ここ」にない人の深く豊かな世界であることに対してどう寄り添いつつ、その人らしい暮らしを形成していけるのかを難しさを覚えつつ考える機会となった。福岡のよりあいの実践に一人でも多くの職員が参加・報告の機会に触れることを願い、年度内に視察研修計画したが、人材不足の問題が解消できず、未実施となった。なお、引き続き次年度課題としていきたい。

3. 人事評価規程の新設と実施によるスムーズな移行整備事業

2022 年度 4 月 1 日付で人事評価規程を新設した。それに伴う試行準備期間を 7 月～9 月末まで設け、10 月 1 日より全職員に対して人事評価シートによる自己評価、責任者評価、面接を実施した。自己評価の高い職員の評価と責任者評価が必ずしも一致せず、むしろ開きが大きく出る場合と自己評価は低いが責任者評価が高い場合が顕著であった。また、面接を通してさまざまな職場環境内での働くことを阻害するようなトラブル等についても明らかとなり、困難ケースに対しては別紙「ハラスメント防止に向けて」のとおり、社会保険労務士に同席をいただきながら対応してきた。しかしながら、改善に至っていない。2023 年度の整備課題として引き継ぎ、より働きやすい環境整備に努めていきたい。

4. 地域に必要とされるなんでも相談の強化事業

2021 年 10 月から「なんでも相談室」（毎週月曜日 10：00～13：00）を開設してきた。機関紙や掲示板上などで案内してきたが、この相談事業の存在についてどこまで周知化ができているかはさだかではない。毎週の相談員を確保および相談件数については別紙のとおりである。開催数は 50 回であった。

第 4 月曜日についてはみんなの食堂の開店時間の前後に利用できるように時間変更を行うなど工夫を行った。相談員会議の中での提案は①名称を「マナなんでも相談」に変更、②相談日にのぼり旗、掲示板を設置する、③記録を残すなど実施してきたが、「なんでも」の相談事業の課題は多く残されている。

社会福祉法人 からし種の会

法人主催研修実施計画表(2022年度)(R4)

2023年3月末 現在

参加者数	キャリアパス対応研修名	主催者	実施予定日	研修会場	案内日	料金	研修報告	その他
計 2名	2022年度 新規職員研修(3回コース) (内容)・当法人の理念・社会福祉法人職員としての自覚 ・就業規則・バイタルサインの知識・緊急時の対応 ・サービス計画と記録・各種マニュアル ・ヒヤリハットと事故報告書	社会福祉法人からし 種の会	4月1日 5月9日 5月5日	マナの家階「いこい」	3月25日		5/25	担当:土田成子
からし 1名	本田景子	"		"				
マナ 1名	李 間録	"		"				
約 25名	社会福祉法人からし種の会 公開講演会「老いとほけの世界」	社会福祉法人からし 種の会	8月12日(金)	マナの家階「いこい」	7月20日 パンフレット配布	謝送料 50,000他 交通費	8/12	講師:村瀬孝生氏 社会福祉法人 福岡 ひかり福祉会理事 よりあい代表 オンライン併用
からし 3名	樋口俊介、中島美帆、加藤明子	"		"				
マナ 9名	堀川聖子、滝澤絹代、長岡勇太、齋藤優樺、治岐太郎、 秋山正江、齋藤圭子、横尾隼英、土田成子	"		"				
公益 2名	白鳥修亮、土屋サキ子	"		"				
事務局 4名	山崎理事長、高橋律子、今岡勝利、盛合良子	"		"				
その他 7名	ご家族 2人 法人関係者 2人 一般 3人	"		"				
計 14名	身体拘束廃止研修会(1回目) (内容)・当法人の拘束適正化のための指針確認 ・当法人の拘束ゼロのためのマニュアル確認 ・伝達研修(新潟市研修)「不適切ケアからの虐待防止」 ・グループワーク「不適切ケアしたことはないか?見たことはないか?」について	社会福祉法人からし 種の会	11月28日(月)	マナの家階「いこい」	11月15日		11/28	担当:滝澤絹代
からし 3名	中島美帆、廣川裕樹、小林智子	"		"				
マナ 9名	堀川聖子、滝澤絹代、西村富美子、板垣良貴、秋山正江、 治岐太郎、横尾隼英、齋藤優樺、浅野かおる(実習生)	"		"				
公益 2名	山崎ハコネ、土田成子	"		"				
計 24名	感染症予防研修会「ガウンテクニック等について」	社会福祉法人からし 種の会	2月7日、2月11日 2月13日、 2月14日	マナの家階「いこい」	各施設で周知		2/14	担当:土田成子
からし 6名	樋口俊介、中島美帆、廣川裕樹、齋藤信恵、森 智志、本田景子	"		"				
マナ 14名	堀川聖子、滝澤絹代、西村富美子、板垣良貴、大越義美、横井清 彦、太田宏子、李 間録 横尾隼英、治岐太郎、長岡勇太、齋藤 優樺、藤本洋樹、黒岩優子	"		"				
公益 4名	石川久栄、柳川洋美、野口昌嗣、土屋サキ子	"		"				

法人主催研修実施計画表(2022年度)(R4)

社会福祉法人 からし種の会

2023年3月末 現在

参加者数	キャリアパス対応研修名	主催者	実施予定日	研修会場	案内日	料金	研修報告	その他
計 22名	身体拘束廃止研修会(2回目) (内容)・虐待防止・身体拘束防止に関する研修(応用編) ・グループワーク (事例:無断外出)	社会福祉法人からし 種の会	2月21日(月)	マナの家地階「いこい」	2月3日(金)		2/25	講師:御あしたの森 林 正海
からし 4名	廣川裕樹、齋藤信恵、川西芳子、加藤明子	"		"				
マナ 9名	滝澤絹代、横尾隼英、治岐太郎、長岡勇太、大越義美、板垣良貴、齋藤優樺、藤本洋樹、イーハンゴン	"		"				
公益 1名	土田成子	"		"				
計 5名	管理者等対象 ハラスメント研修	社会福祉法人からし 種の会	2月28日(火)	マナの家地階「いこい」			2/28	講師:五十嵐 保 当法人、顧問 社会保険労務士
	山崎ハコネ、土田成子、堀川聖子、滝澤絹代、樋口俊介	"		"				
計 27名	ハラスメント研修	社会福祉法人からし 種の会	3月1日、3月2日 3月3日、	マナの家地階「いこい」	2月26日(日)		3/6	講師:五十嵐 保 当法人、顧問 社会保険労務士
からし 2名	廣川裕樹、小林智子	"		"				
マナ 17名	中島美帆、横尾隼英、治岐太郎、長岡勇太、大越義美、板垣良貴、齋藤優樺、西村富美子、横井清彦、大田宏子、小池弘子、藤本洋樹、イーハンゴン、秋山正江、齋藤圭子、武藤道子、青柳照子	"		"				
公益 5名	石川久栄、柳川洋美、野口昌嗣、土屋サキ子、土田成子	"		"				
事務局 3名	高橋律子、今岡勝利、盛合良子	"		"				

キャリアパス研修実施計画表(2022年度)(R4)

2023年3月末現在

氏名	キャリアパス対応研修名	主催者	実施予定日	研修会場	申込開始	申込日	受講承認日	料金	研修報告
山崎ハコネ 堀川聖子 土田成子 滝澤絹代 中島美帆	意思決定支援研修会	新潟市保険健康衛生部 地域医療推進課	R4.4.16 (土)	マナの家 地階 「いこい」 オンライン		11月24日	11月24日	—	4月16日
中島美帆	介護支援専門員研修	新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課	R4.4.13～5.11	オンライン				44,000	
齋藤優輝 柳川洋美	ほけますから よろしくお願ひします。 ～おかえりお母さん～	シネ・クインド	R4.5.4 (水)	シネ・クインド				1,800 ×2	5月14日
堀川聖子	新型コロナウイルス感染症の対応研修 ～事業所を守るために～	(公)日本認知症グループ ホーム協会 新潟県支部	R4.5.31 (火)	新潟ユニゾンプラザ		5月20日		—	6月6日
横尾隼英	令和4年度第1回新潟市認知症介護実践研修	新潟市地域包括ケア推進課	R4.6.20～8.16	新潟テレサ			5月27日	20,000	8月辞退
堀川聖子	いま求められる社会福祉士の役割	新潟市社会福祉士会	R4.6.18 (土)	マナの家 地階 「いこい」 Zoom				—	7月2日
堀川聖子	令和4年度 リーダーコミュニケーション研修	新潟県社会福祉協議会	R4.7.7 (木)	新潟ユニゾンプラザ		5月26日	6月14日	6,200	7月12日
齋藤信恵 板垣良貴 横尾隼英 黒岩優子	新潟市養介護施設・要介護事業所向け研修会 アンガーマネジメントの必要性と基本的理解	新潟市福祉部高齢者支 援課	R4.8.23 R4.8.29	Zoom 又は You Tube				—	横尾さん欠
樋口俊介 長岡勇太 齋藤優輝	不適切ケアからの虐待防止 ～不適切ケアはなぜ起こるか～	(公社) 新潟県介護福祉士会	R4.9.6 (火)	新潟ユニゾンプラザ		8月20日	伝達研修等 実施	5,500 ×3	9月9日 9月9日 9月14日
齋藤信恵 板垣良貴 横尾隼英 黒岩優子	新潟市養介護施設・要介護事業所管理者向け高齢者虐待防止 研修会(施設系)	新潟市福祉部高齢者支 援課	R4.9.26 (月)	Zoom 又は You Tube				齋藤、市に参加済 メール 送る	
滝澤絹代	新潟市養介護施設・要介護事業所管理者向け高齢者虐待防止 研修会(通所系)	新潟市福祉部高齢者支 援課	R4.9.30 (金)	Zoom 又は You Tube				市に参加済メール 送る	10月1日
堀川聖子	令和4年度 苦情解決責任者等のための苦情解決研修	新潟市福祉サービス 運営適正化委員会	R4.11.5 (土)	新潟ユニゾンプラザ		9月16日		3,000	11月12日
土田成子 高橋律子	介護職員(等 特定)処遇改善加算活用セミナー	(公財) 介護労働安定 センター 新潟県支部	R4.11.8 (火)	マナの家 地階 「いこい」 Zoom		8月29日			11月8日

キャリアパス研修実施計画表(2022年度)(R4)

2023年3月末現在

氏名	キャリアパス対応研修名	主催者	実施予定日	研修会場	申込開始	申込日	受講承認日	料金	研修報告
治 峻太郎 本田景子	介護技術研修会	(公社) 新潟県介護福祉士会	R4.11.19 (土)	新潟ユニゾンプラザ	コロナのため 研修日 変更	5月30日	7月20日	2,000 × 2	12月3日 11月26日
山崎ハコネ 土田成子 堀川聖子 樋口俊介	新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザとの 同時流行に備えるための説明会	県 福祉保健部 高齢福祉保健課	R4.11.24 (木)	マナの家 地階 「いこい」 Zoom		11月22日	11月24日	—	11月24日
齋藤優樺	認知症ケアが上達する薬の知識	なるほどケア塾	R4.12.4 (日)	新潟県民会館	11月21日	11月21日		7,000	12月22日
本田 景子 藤本洋樹 李 間諒	明日から実践しよう「認知症ケアの基本」	新潟市在宅医療介護連携 ステーション西	R4.12.6 (火)	Zoom	11月10日	11月10日	本田・藤本 出席確認		12月7日
板垣良貴 横尾隼英	すぐに使えるシーティング	なるほどケア塾	R4.12.11 (日)	新潟県民会館	11月21日	11月21日		7,000 × 2	コロナため 中止
黒岩優子 大越義美	意思決定支援研修会	新潟市保険健康衛生部 地域医療推進課	R4.12.16(金) R4.12.21(水)	Zoom	11月21日	11月29日	12月13日	—	12月21日 大越 Zoom操作不備欠席
滝澤絹代	にしCo.Mi.NET2022 「8050事例からみる伴走型支援の考え方」	西区コミュニティソーシヤ ルワーク推進事業	R4.12.21 (水)	内野まちづくりセンター		12月10日		—	12月27日
土田成子 武居美津恵	地域看護連携強化事業 地域別研修会 「高齢者の急変に結びつく危険な徴候」	新潟市在宅医療介護連携 ステーション西	R4.12.23 (金)	マナの家 地階 「いこい」 Zoom		11月11日		—	大雪のため 参加不能
土田成子 高橋律子	救急研修会	新潟市西消防署	R5.1.26 (木)	黒崎市民会館多目的ルーム	1月	1月26日		—	コロナ感染拡大の ため中止
滝澤絹代 齋藤優樺	西区子育て支援者交流会	西区健康福祉課	R5.2.8 (水)	黒崎市民会館多目的ルーム				—	2月20日 2月22日
齋藤優樺	社会福祉士実習指導講習会	(公社) 新潟県社会福祉士会	R5.2.10 (金) R5.2.11 (土)	マナの家 Zoom			12月27日	10,000	2月22日
板垣良貴	日課の中での生活リハ	(公社) 新潟県介護福祉士会	R5.2.17 (金)	マナの家 Zoom		2月3日		5,500	2月17日

高齢者グループホームからし種の家 2022 年度事業報告 (案)

基本理念

本事業は、キリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域とかかわりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

- 1、入居されている方それぞれの生き方や価値観を尊重し、入居者のご家族を含め職員それぞれがお互いに認め合う。入居者の方同士の関係性を守っていく。
- 2、コロナ禍での入居者の方とご家族の関係の継続・維持
- 3、運営推進会議の入居者参加と内容の発信の充実

行動計画

1 <具体策>

- ・新しく入られた入居者の方々もホームでの生活に慣れてきた今、入居者の方々同士の関わりの中ですれ違いや誤解が生じ口論や気持ちが沈まれてしまうこともある。職員は注意深く見守りし必要時には間に入り話題を変え、言葉を補っていく。また気持ちが沈み、不安を感じてしまった方に対し、そのサイン（表情や行動）を見逃さずゆっくりお話をお聴きし寄り添い安心していただけるよう取り組む。職員間でも情報共有し共通の認識としてケアしていく。
- ・入浴はご本人の希望をお聴きし、介助者や時間の調整を行うことでできる限りご本人が安心し、リラックスして頂けるよう取り組む。現在のホームの共有スペースでは会話が長く賑やかな雰囲気であるがお一人お一人のお話を聴く場が少ないため、一対一となる入浴の時間を活用し、ゆっくりとご本人の訴えや想いを引き出し寄り添える場とする。
- ・モニタリングやアセスメントの時にその人の気持ちについて振り返るようにする。日々の勤務の中や、職員会議の場で職員一人ひとりが入居者の方との関わりの中で感じた事や気づきを話し合いケアプランに反映させていく。またその変化をご家族にお伝えしていくことでそれに対してのご家族の意向をお聴きし、ご本人の

様子を把握していただく。

1 に対して

- ・入居者、職員の入れ替わりにより精神状態が変わりやすいことを職員一人一人が理解しそのサインを見逃さないよう意識し日々関わることができた。申し送り等を通して情報共有し声かけの仕方や席替え（環境を変える）を工夫していくことで個人の価値観や尊厳を守り入居者間の関係性の維持に繋げることができた。
- ・入浴の時間を大切にしご本人の声をゆっくり聴くことのできる時間としている。入浴後には気持ちが穏やかで表情の良い入居者の方々を見ることが多く対応した職員もそれを実感できている。
- ・モニタリングは担当の職員が行っているが、職員会議で出た現状や課題が反映している。またご家族の意向は全職員で周知し、それに沿った対応をしていた。
- ・散歩、ドライブ等の外出の機会十分に作れなかった。マスク、手洗い、消毒など感染対策をしたうえでの外出の機会を今後増やしていくことが課題である。

2 <具体策>

- ・新型コロナウイルスの影響により現在も入居者の方々とそのご家族の面会の機会少ない。ご家族が日用品等を届けに来訪された際は窓越しでもご本人とご家族が顔を合わせられるよう職員が案内していく。
- ・3ヶ月に1回暮らし日記にてご本人の様子をお伝えしていたが、それだけでなく毎月写真をご家族にお送りしご本人がどのようにホームで過ごされているか把握でき安心して頂けるよう取り組む。
- ・電話の際は引き続きご本人の日々の様子を細かくお伝えし、ご本人とも直接話していただくことで関係性の維持、継続をしていく。

2 に対して

- ・面会の制限多くお部屋でゆっくりと会っていただく機会作ることができなかったがご家族が日用品等を届けに来訪された際は積極的にお誘いし玄関先で顔を合わせていただいた。ご家族が帰られたあとにはご本人から笑顔もみられご家族との関係維持の大切さを職員も改めて認識できた。
- ・毎月のご本人の写真をご家族に送ることでご家族に直近のご本人の様子を知っていただいた。
- ・面会の制限がある中で電話をご本人とご家族を繋ぐ大切な手段と捉え、積極的に直接電話でやり取りする機会、環境を職員で用意した。またご本人と直接でなくても職員からご本人の最近の様子を細かくお伝えした。

3 <具体策>

- ・コロナ禍で入居者の方々の運営推進会議への出席難しい際は管理者が入居者の方々からお話をお聴きしその内容を運営推進会議の場でお伝えしていく。また入

居者の方々と話し合っている様子を写真にし運営推進会議構成員の方々に様子を把握していただき入居者参加への充実を図る。

- ・運営推進会議の内容を議事録としてご家族にお送りしていく。またホームの玄関に議事録を設置し外部の方々にも発信していく。

3 に対して

- ・管理者は事前に日々の関わりの中でお聴きした入居者様の「声」を毎回の運営推進会議の場でお伝えした。
- ・現在、運営推進会議の議事録をご家族に送ることができていない。来年度の課題として今後取り組む必要がある。

2. 運営推進会議

年 月 日	内 容
2022(R4) 5月17日	外部評価結果報告。コロナ禍での面会再開と感染予防対策。
2022(R4) 7. 19	避難訓練の実施報告。入居状況の報告。入居者様からお聴きした想いや要望。
2022(R4) 9. 20	苦情受付についての報告。入居者様からお聴きした想いや要望。
2022(R4) 11.20	事故報告(1件)。入居者様からお聴きした想いや要望。
2023(R5) 1.24	避難訓練の実施報告。苦情受付についての報告。クリスマス会報告。入居者様からお聴きした想いや要望。
2023(R5) 3.28	事故報告(1件)。ホーム内の修繕報告。人事異動報告。入居者様からお聴きした想いや要望。

3. 外部評価

高齢者グループホームからし種の家

評価機関	新潟県社会福祉士会あいエイド新潟
自己評価作成日	令和 年 月 日
訪問調査日	令和 年 月 日
評価確定日	令和 年 月 日
市町村への結果提出日	令和 年 月 日

・新潟県地域密着型サービス外部評価実施要綱第3条第2項に定める実施回数の適用を受けたため実施せず

4. 利用者介護度年齢別構成

	65歳未満		65～69歳		70～79歳		80～89歳		90～99歳		100歳以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	5
要介護3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	1	1	6	0	1	0	0	9
最高年齢	95歳												
最低年齢	79歳												
平均年齢	86歳												
平均介護度	2												

2023(R5)3月末現在

性別 区分	男性	女性	計
1年未満	0	2	2
1年～3年未満	0	4	4
3年～5年未満	0	2	2
5年～7年未満	1		1
7年～9年未満	0	0	0
9年以上	0	0	0
計	1	8	9

区分		性別		R4年								R5年			計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
入居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	男	0	2
	女	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	女	2	
退居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	男	0	2
	女	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	女	2	
主な退居理由		他施設への入居のため(2名)														

7.主な行事報告

年 月 日	行事名	内容
令和4年4月	お花見、花壇づくり	コロナ禍での外出支援としてドライブにお誘いし車内から桜や景色を楽しんでいただいた。ホーム玄関、中庭の花壇を入居者様と職員で作し食席から花壇を眺め気分転換になった様子。
令和4年7月	七夕	当日までに入居様方に書いていただいた願い事を飾った笹を眺めながら、デコレーションしたカップケーキを召し上がっていただいた。
令和4年9月	夏祭り	ホーム内リビングにて玉入れ、輪投げ、魚釣り、フラダンス、ポップ焼き等夏祭りの雰囲気を楽しんでいただいた。
令和4年11月	福祉バザー	地域の方々との交流、作品展の鑑賞、買い物を楽しんでいただいた。
令和4年12月31日	お歳夜	お歳夜は皆様で特別番組楽しまれ、お正月にはおせちなどごちそうをいただき、行く年来る年を祝った
令和5年1月1日	お正月	
令和5年2月3日	節分	豆まきをして、無病息災を祈願した
令和5年3月3日	ひな祭り	お雛様を飾りホームの中にも季節、時期を感じていただいた

8.高齢者グループホーム からし種の家 2022年度 外出支援状況 (報告)

種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数
個別ケア ドライブ、美容 院、喫茶等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	福祉バザール 4 7		0	0	0	0	0	0	0	0
散歩	0	0	3	5	3	3	2	2	0	0	4	5	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
買い物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
行事、その他 お花見、初詣等	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備考																								
合計	1回	2名	3回	5名	3回	3名	2回	2名	0回	0名	5回	7名	2回	2名	4回	7名	0回	0名	0回	0名	1回	1名	3回	3名

高齢者グループホーム からし種の家 2021年度 外泊・面会状況 (報告)

種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数
面会	1回	1名 /1(9) 名	4回	7名 /4(9) 名	1回	1名 /1(9) 名	1回	1名 /1(9) 名	0回	0名 /0(8) 名	0回	0名 /0(9) 名	0回	0名 /0(9) 名	4回	5名 /4(9) 名	0回	0名 /0(9) 名	2回	3名 /2(9) 名	2回	3名 /2(9) 名	2回	5名 /2(9) 名
種別	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数	回	利用者数
外泊	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名

7/1より8名 7/24より9名 8/18より8名 9/24より9名

9.高齢者グループホーム からし種の家 2022年度 ボランティア活動状況 (報告)

種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数
余暇活動																								
話し相手、 外出支援、 習字教室等																								
調理																								
環境整備																								
草とり、大工 仕事等																								
出し物																								
歌、踊り、演 奏等の披露																								
備考																								
合計	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名

10.高齢者グループホーム からし種の家 2022年度 実習生受け入れ状況(報告)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
延日数	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
所属												

11.地域交流実績報告

○地域との交流(行事報告と重複あり)

年 月 日	名称	内容
2022年度		昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年行っている地域の方々参加の笹団子作り、初夏のお楽しみ会、クリスマス会は中止になりました。ホーム周辺での散歩、福祉バザーへの参加を通して近隣に住む地域住民との交流を維持できるよう取り組みました。

12.消防・避難訓練実績報告

○消防訓練

年 月 日	種別	参加数	内容
令和4年6月24日	火災避難訓練	入居者 9名 職員 4名 町内の方 3名 消防隊の方	日中、隣家からの出火を想定した避難訓練。通報訓練も兼ねて実施した。通報時に出火元の正確な情報を伝えることと、火災発生確認時の声出しの仕方について指導を受けた。
令和4年12月7日	火災避難訓練	入居者 9名 職員 3名	日中、ホーム内台所からの出火を想定した避難訓練を実施した。通報訓練は消防隊の方から「良好でした」と話いただく。訓練では1箇所(リビング)に入居者様方集まっていたため誘導スムーズだったが実際の火災発生時は2Fにいる方の誘導も必要になってくる。様々な状況を想定した避難訓練を計画し実施していくことが課題として

グループホーム マナの家 2022 年度事業報告

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域と関わりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

1. 利用者の持てる力とご本人の意思が尊重される暮らしを支援する。
2. 地域との新しいつながり方を模索し構築する。
3. 居心地のよい環境作り
4. 職員個々の力が発揮でき、自主的に働ける職場作り

行動計画

1. 利用者の持てる力とご本人の意思が尊重される暮らしを支援する。

＜具体策＞

- ① 利用者の言葉や行動を個人記録に残し、申し送りや会議の中で職員間の情報の共有を図った。
また利用者個々の様子や職員の気づきを職員間でよく話し合うと共にケアプランに盛り込み、具体的な実践に移した。
- ② 面会やケアプランの意向の聞き取りの際などを活かし、入居後も継続してご家族からの情報収集を図った。楽しみ事や得意なことなど、頂いた情報を日々の暮らしに取り込んだ。
- ③ 「ラーメンが食べたい」「鰻が食べたい」など食事のリクエストやドライブや散歩に行きたいといった外出の希望など、受け取った思いを実行し、満足感や楽しみにつなげた。コロナ禍のため、家族との外食や帰宅などの要望は叶えることができなかった。
- ④ 全体での意思決定支援の研修は行えなかったが、昨年度研修を受けた職員から随時、利用者の意思決定の大切さを伝え、生活の中の小さな選択も含めてご本人の意思決定を大切にする意識作りに努めた。看取りの際にもできうる限りご本人の意向を確認し、ご家族と共にマナの家での安らかな看取りが行えた。
ご利用者アンケートを実践し、確認できた意見や要望はサービスの改善につなげている。

2. 地域との新しいつながり方を模索し構築する。

<具体策>

- ① 運営推進会議ではグループホームの様子やご利用者の意見を届けながら、運営推進委員の方の活発な意見のやりとりが毎回あった。
- ② コロナ禍ではあったが、地域の方のボランティアの協力でオンラインのクリスマス会を行った。また青山小学校区コミ協便りに「マナの家 みんなの食堂」の取り組みが掲載された。消防署からの要請により「にいがた救命サポーター制度」に登録し、ホームのAEDを地域に貸し出す協力体制を築いた。
- ③ 有明地区合同作品展への出品やみんなの食堂のお弁当パッケージ作りなど、間接的ではあるが利用者と地域がつながる機会を設けた。今年度のバザーはマナの家の前の道路を封鎖し、出店やイベントを行う大がかりなものだったが、地域の会議に参加し準備段階から地域の方と共に取り組んだ。バザーでの食品販売や1品寄付、子供の為の手作りゲームコーナーなど職員やホームの力を活かした交流が図られた。
- ④ コロナ禍以降の地域と関係作りにつながるよう GH の掲示板を活用し、食堂や何でも相談室、公開講演会の案内などを掲示し、日頃の取り組みを地域に伝え、広報誌の作成配布を行った。また、クリスマスカードを持って年末の挨拶回りを近隣に行い、新築で引っ越してこられた世帯との関係作りにつなげた。
- ⑤ 感染症対策を行いながら散歩やドライブなどの外出を行った。また、畑作業などで法人施設間の交流や敬和学園大学の学生との交流を楽しんだ。

3. 居心地のよい環境作り

<具体策>

- ① 環境美化委員会を中心にホームの清掃・物品の整理の年間計画を立てる予定だったが不十分に終わった。都度施設内外の状況に応じて整理整頓や清掃を行った。就労支援事業所「きまま舎」の活動に協力依頼し、共に環境整備に取り組んで頂いた。
- ② 掲示物や装飾の定期的な見直しで、利用者にとって混乱のない空間づくりに努めた。掲示しっぱなしを避け、不要のものは取り除いた。装飾については季節に合うものや利用者の作品など眺めて楽しい物や会話の糸口となるようなものを意図した。
- ③ 利用者にとって最大の環境は職員であるとの思いから、人的環境としての職員個々の言葉、振る舞い等をユニット会議や日々の申し送りの中で振り返った。「ご利用者アンケート」の実施で職員の接遇、姿勢について何う項目を設け、利用者側から職員をみた時というものが意識できるようにした。
- ④ 職員間のチームワークについては、お互いを知ることの大切さから会議の充実を図ったり、業務の見直しなどでスムーズな連携となるよう取り組んだ。

4. 職員個々の力が発揮でき、自主的に働ける職場作り

<具体策>

- ① 居室担当の役割の見直しについては、担当に限らず、職員全体の利用者、家族への対応力のアップとして行った。連絡や報告、相談などの役割を管理者やケアマネだけが行うのではなく、各職員が個々のレベルに応じて行えるよう機会を設けた。
- ② 委員会については活動の活発な委員会とそうではない委員会とに分かれてしまい、今後も課題である。定期的な委員会の会議の開催や活動計画にのっとって自主的に活動が勧められるような組織作りが必要。11月バザーでは係分担にて職員個々の力が発揮されていた。
- ③ 人事考課制度の導入し、職員個々での振り返りと面談を通じての振り返りを行った。年1回しか行えず、定期的な取り組みが課題である。
- ④ ユニット会議、全体会議、研修等を計画的に行う予定であったが、全体会議の機会は設けられなかった。ユニット会議は概ね定期的に行う事ができ、全体会議の代わりに各ユニットの会議録を回覧するなど情報共有を図った。内部研修では他ユニットを交えて意見交換の場を設けた。

グループホーム マナの家 2022年度 年間行事報告

	内容	備考
4 月	イースター お花見（寺尾中央公園）	誕生日会
5 月	母の日	誕生日会
6 月	畑の苗植え（からし種の家、敬和学園大学学生合同） リクエスト食事会	誕生日会
7 月	七夕祭り	誕生日会
8 月	歌の会（オンライン）	誕生日会
9 月	有明地区防災訓練参加 避難訓練（夜間想定） 敬老のお祝い 歌の会（オンライン）	誕生日会
10 月	バザー準備	誕生日会
11 月	有明地区合同作品展・福祉バザー	誕生日会
12 月	クリスマス会 お正月準備	誕生日会
1 月	新年会（食事会、お正月の遊び、書初めなど）	誕生日会
2 月	節分 避難訓練	誕生日会
3 月	ひな祭り リクエスト食事会	誕生日会

年 月 日	内 容
2022年4月26日	活動内容報告 避難訓練 外部評価
2022年6月28日	活動内容報告 新型コロナウイルス対応 利用料金改定 にいがた救命サポーター制度加入
2022年8月30日	活動内容報告 新型コロナウイルス対応 苦情解決委員会の開催 公開講演会
2022年10月25日	活動内容報告 自治会防災訓練 前期避難訓練 預り金廃止説明
2022年12月20日	活動内容報告 からし種の会バザー 身体拘束廃止内部研修 事故報告
2023年2月28日	活動内容報告 コロナ感染症発生時対応マニュアル ご利用者アンケート 身体拘束・虐待外部研修

3. 外部評価

評価機関	あいエイド新潟			
自己評価作成日	令和 4年	12月	28日	
訪問調査日	令和 5年	2月	23日	
評価確定日	令和 5年	4月	3日	
市町村への結果提出日	令和 5年	4月	26日	

2023年3月末

	65歲未滿		65~69歲		70~79歲		80~89歲		90~99歲		100歲以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
要支援2													
要介護1							1	1					2
要介護2								1		2			3
要介護3								0					
要介護4								1		2			3
要介護5								1					1
計							1	4		4			9
最高年齡	93歳												
最低年齢	84歳												
平均年齢	88.6歳												
平均介護度	2.7												

[illegible]

性別 区分	男性	女性	計
1年未満	1	2	3
1年～3年未満	0	2	2
3年～5年未満	0	2	2
5年～7年未満	0	0	0
7年～9年未満	0	1	1
9年以上	0	1	1
計	1	8	9

区分		性別		2022年									2023年			計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
入居	男									1				男	1	3		
	女	1			1									女	2			
退居	男													男		3		
	女	1		1				1						女	3			
主な退居理由		・ご本人の身体面の重度化と申し込んでいた特養入居の順番が来たため。																
		・尿路感染で入院加療。その後、状態変わり病院から他施設に住み替え。																
		・体調不良により入院。その後体調の改善見られず退居となる。																

性別 区分	男性	女性	計
1年未満	1	1	2
1年～3年未満	0	2	2
3年～5年未満	0	3	3
5年～7年未満	0	1	1
7年～9年未満	0	0	0
9年以上	0	0	0
計	1	7	8

区分		性別		2022年								2023年			計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
入居	男												1		男	1	3
	女	1						1							女	2	
退居	男														男	0	3
	女						1			1	1				女	3	
主な退居理由		・ご本人の身体的重度化と申し込んでいた特養の入居の順番がきたため。															
		・ご本人の身体的重度化(医療の必要性)と申し込んでいた特養の入居の順番が															
		きたため。															
		・病気による永眠。(ホームにてお看取り)															

8. グループホーム マナの家 2022年度 外出支援状況（報告）のぞみ

種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数
個別ケア ドライブ、美容 院、喫茶等	1	1	7	2	9	2	9	2	4	2	4	2	7	2	5	2	2	1	3	1	1	1	8	2
	3	5	12	2	12	2	15	2	6	2	8	2	8	2	13	1	2	1	0	0	2	1	4	2
散歩	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	6	1	3	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0
買い物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行事、その他 お花見、初詣等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DS同行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みんなの家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7回	13名	20回	7名	23回	8名	24回	4名	10回	4名	12回	4名	15回	4名	19回	11名	4回	2名	3回	1名	3回	2名	12回	4名

マナの家 2022年度 外泊・面会状況（報告）のぞみ

種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数
面会	5回	10名 / 3名	5回	6名 / 3名	9回	9名 / 3名	23回	23名 / 5名	0回	0名 / 0名	2回	2名 / 2名	14回	15名 / 3名	13回	16名 / 3名	1回	1名 / 1名	5回	5名 / 3名	20回	27名 / 6名	19回	19名 / 3名
種別	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数	回	来訪者 延数/利 用者数
外泊	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名

グループホーム マナの家 2022年度 外出支援状況（報告）めぐみ

種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数
個別ケア	3	5	1	4	5	5	6	6	6	10	0	0	5	7	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0
ドライブ、美容 院、喫茶等																								
散歩	1	1	5	5	10	7	6	5	3	1	3	2	5	4	11	6	1	1	9	4	10	4	19	5
買い物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行事、その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0
お花見、初詣等																								
みんなの家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4回	6名	6回	9名	15回	12名	12回	11名	9回	11名	3回	2名	10回	11名	12回	15名	1回	1名	9回	4名	14回	8名	19回	5名

マナの家 2022年度 外泊・面会状況（報告）めぐみ

種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数	回数	来訪者 延数/利 用者数
面会	3回	6名/ 2名	15回	20名/ 7名	23回	25名/ 5名	13回	16名/ 4名	2回	2名/ 2名	3回	3名/ 2名	15回	18名/ 6名	18回	20名/ 5名	1回	1名/ 1名	13回	15名/ 4名	15回	17名/ 6名	25回	30名/ 6名
種別																								
外泊	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名	0回	0名

9.グループホーム マナの家 2022年度 ボランティア活動状況 (報告) のぞみ

種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数	回数	ボランティア 延人数
余暇活動 話し相手、 外出支援、 習字教室等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理補助 後片付け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境整備 草とり、大工 仕事等	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出し物 歌、踊り、演 奏等の披露	0	0	0	0	0	0	0	0	1	20	1	20	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0
合計	0回	0名	0回	0名	1回	5名	0回	0名	1回	20名	1回	20名	0回	0名	0回	0名	2回	9名	0回	0名	0回	0名	0回	0名

10.グループホーム マナの家 2022年度 実習生受け入れ状況(報告)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
延日数	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
所属												

9.グループホーム マナの家 2022年度 ボランティア活動状況 (報告) めぐみ

種別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数	回数	ボラン ティア 延人数
余暇活動																								
話し相手、 外出支援、 留守教室等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理																								
調理補助 後片付け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境整備																								
草とり、大工 仕事等	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出し物																								
歌、踊り、演 奏等の披露	0	0	0	0	0	0	0	0	1	20	1	20	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0回	0名	0回	0名	1回	5名	0回	0名	1回	20名	1回	20名	0回	0名	0回	0名	1回	4名	0回	0名	0回	0名	0回	0名

10.グループホーム マナの家 2022年度 実習生受け入れ状況(報告) めぐみ 2022年度は社会福祉士受け入れ

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0名	0名	1名	0名	0名	名	0名	1名	0名	0名	0名	0名
延日数	0日	0日	12日	0日	0日	日	0日	12日	0日	0日	0日	0日
所属			敬和学園大学					敬和学園大学				

11.地域交流実績報告

○地域との交流(行事報告と重複あり)

年 月 日	名称	内容
2023年度		新型コロナウイルス感染症の対策を図りながら、オンラインによる「歌の会」「クリスマス会」を実施し地域の方との交流を図った。また自治会と共同主催のバザー・作品展ではホーム前の道路を封鎖し、屋外を中心とした催しでより地域の方の参加がしやすく、交流の幅が広がった。みんなの食堂のお弁当パッケージをご利用者に作成して頂いたり、AEDの地域への貸し出しのサポーターに登録するなど、コロナ禍でも行える交流を模索し取り組んだ。

12.消防・避難訓練実績報告

○消防訓練

年 月 日	種別	参加数	内容
令和4年9月14日	火災避難訓練	入居者 16名 デイ利用者3名 職員 11名	夜間、2階ユニットのキッチンからの火災を想定した訓練を行った。2階はデッキへ避難、1階はたまり場への避難誘導を行った。夜間は職員が少人数の為、大声で火事を知らせることや役割を決め連携プレーでの避難を意識して行った。スムーズな避難誘導ができたが、トイレ介助中など、イレギュラーな場面での訓練も今後必要。
令和5年3月14日	火災避難訓練	入居者 17名 デイ利用者 2名 職員 10名	日中、1階ユニットのキッチンから出火を想定。初期消火、通報訓練、避難訓練を実施。2階ユニットはリビング掃き出し窓からの避難を想定し、歩行可能な方はベランダを歩いて外へ避難する訓練を行った。1階ユニットは火元から離れたたまり場から外へ避難する想定で訓練を行った。歩行可能な方でも避難時は車いすを使用した方が安全にスピーディーに避難できることなどを確認し今後に活かす。

◎9月3日(土)9時～ 西有明町第一自治会防災訓練に参加。地震を想定した避難を地域の方と行った。

◎ユニット会議内で防災委員より地震時の対応について研修を行った。

◎冬季、大雪のための停電を想定し、たまり場に停電時に必要な備品を準備した。

共用型デイサービスマナの家 2022年度事業報告(案)

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

活動方針

1. 自己決定、自己実現ができる。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し認め合う。
5. 自由な暮らしを支援する。

重点目標

1. 利用者のニーズに合わせた必要な介護を家族、他のサービスと連携を図りながら提供し、住み慣れた地域での生活が継続できるように支援する。
2. ご利用者の増加を図るべく、受け入れ態勢を整える。

行動計画

1. 共用型デイの特性を生かし、個別のニーズに沿ったこまやかなケアの提供

<具体策>

・ご利用者の平均介護度が4.5。今年度は終末期のご利用者もおられ、覚醒状況や食事、水分摂取量が徐々に低下していく中で、声かけや過ごす場所、介助方法など個別の対応を職員で共有しながら行った。日ごとの状況を申し送りしながら、他のサービス事業所へも情報提供行ってきた。

おむつ交換時の温タオルでの清拭、食後の口腔ケア、整容等快適に過ごすことができるよう丁寧に行ってきた。

褥瘡や拘縮などに対しては医療職やケアマネジャーへ報告行った。福祉用具の見直しや姿勢保持のアドバイスをいただき、職員へも伝えて共有行った。

・麻痺のため歩行不安定な方も介助しながらできるだけ歩くことができるようその日の状態に合わせて歩行支援行った。利用日数が浅く、落ち着かない様子の方へは一緒にホーム内歩いたり、お手伝いをお願いしたり、時には一人の時間を見守るなど安心して過ごすことができるよう職員で工夫しながら関わってきた。

・誕生会や節分の豆まきなどグループホームの方と合同で行事を行い、交流の機会を持った。日常的にも洗濯物たたみなど一緒に行ったり、歌を歌う、季節の塗り絵など活動を用意し、仲介しながら楽しめるよう環境作りを行った。在宅の方は行き帰りにグループホームの方とあいさつしたり、グループホームの方も送迎に同乗し、ご家族ともあいさつされ

たりと顔なじみの関係ができていた。外出やボランティアの受け入れは思うように行えなかった。

2.利用者受け入れの為の環境の整備

<具体策>

- ・新規採用職員へはデイサービスご利用者についても一人ひとりごとのケアについて丁寧に研修行った。食事や水分摂取の介助の仕方、パットの当て方など姿勢や身体状態等伝え、一緒に行う機会を増やしながら研修行った。
- ・常勤職員は全員が送迎可能になるよう研修の時間を作り、道順や止める場所、車の乗り降りの介助やご家族の状況等説明し、確認を指導担当と一緒にを行った。経験年数等配慮し、追加で指導担当が同乗することで不安なく送迎ができるよう研修行った。ほぼすべての常勤職員が送迎できるようになっている。運転はご利用者の命に関わるため、事故なく送迎できることを第一とし、全員にこだわらず職員の資質を見極める必要はある。
- ・今年度は在宅の方からの申し込みがあり、体験利用後選んでいただき、12月～新規登録者1名増えた。ご本人の好きな活動や過ごし方を職員間で工夫、情報共有し継続利用へ繋ぐことができている。ご家族とも連絡帳を活用して細かく様子をお伝えし、ご自宅での様子教えていただいている。
- ・稼働率は以下の表参照。新規の方受け入れあったが、お一人看取りの方がおられ、ご利用者が減った期間があった。

2022年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	58	60	61	61	63	60	60	59	60	37	36	40	A 655
利用定員数の和	78	78	78	78	81	78	78	78	81	78	72	81	B 939
稼働率	74.4	76.9	78.2	78.2	77.8	76.9	76.9	75.6	74	47.4	50	49.4	

年間稼働率	69.80%
-------	--------

$A \div B \times 100$ (小数点第2位四捨五入)

地域福祉事業マナの家・みんなの家 2022年度事業報告 (案)

1 地域福祉事業「マナの家」(みとり支援)

行動計画及び結果

- (1) その人らしく最後まで暮らすことができるよう、利用者の介護サービス計画を作成し計画にそった介護をしていく。
- ① 各居宅事業所から届く居宅サービス計画書に沿って、ご本人に合わせた介護サービス計画を検討した。ご利用者の状態変化に応じスタッフ会議にて日中・夜間の職員それぞれから意見を聞き、情報の共有化と具体的な介護方法について検討を行った。連絡ノートを活用し、気づきを常に記入しながらスタッフ全員で回覧することで、その人にあわせた介護を実施することができた。
 - ② ご利用者が重度化したときには居室内に個人用のノートを用意し、スタッフは介護中に気づいた変化や様子を書きこみ、勤務前に確認することで情報共有できるようにした。
- (2) 居室での生活の中心の方は、少しでも活動が広がるような支援をしていく。まずはマナの家で行われる日曜礼拝をパソコンを使用し、居室で参加できるよう試みる。
- ① 居室内で日曜礼拝に参加できるよう Zoom を活用する計画をするも、全体的な体調改善のためか、礼拝会場に出向き参加できるようになった。時間に合わせ着替えを行うなど生活のメリハリがつき、以前は知人の面会は拒否されていたが、少しずつ面会ができるようになってきている。
- (3) 利用者の状況に応じて居宅サービス等を上手に組み合わせながら自立支援を行っていくとともに、担当者会議などにご本人・ご家族の参加できる状況を整えていく。
- ① 担当者会議開催が決まった際は、ご家族にお声掛けし参加していただいた。ご本人の状況をご説明しご理解いただいたうえで、必要に応じ訪問看護の導入時期の相談を行い、褥瘡予防の介護用品の利用などを試みた。

- (4) 看取り介護の充実を図るため、地域医療並びに関係機関との情報を密にし、信頼関係を築きながらご本人とご家族の意向に添える安らかな自然死を迎えられるよう支援する。
- ① 今年度は大腸がんを患っていたご利用者様の看取り介護を経験させていただいた。合わせて腸閉塞や腹膜炎を心配していたが回避され、時に顔をしかめるなど痛みの表情は見られたものの、鎮痛剤を使用することではなくスタッフの声掛けや見守りにより安らかな自然死を迎えることができた。
 - ② コロナ禍であったため感染に注意し、コロナウイルス抗原キットやガウン等の感染予防を行いながらご家族との面会を行った。長男様、長女様それぞれご本人との最後の時間を頻回に設けることができ、感謝いただいた。
- (5) 1回/月の職員会議を開催し、仕事内容を共有する。また、仕事内容を文章化し、仕事の引継ぎがスムーズに行えるようにする。
- ① 今年度は1回/月の職員会議を計画していたが、実際はご利用者の状態変化が見られた時の対応の検討としての開催にとどまり、3回/年の実施となった。
 - ② 日勤、準夜、深夜の業務について、細かく計時的に文章化し、入浴や訪問看護の準備、業務の流れを明確にすることでスムーズに行えるよう対応した。
- (6) 稼働率を100%に近づけることを目標に自主事業としての健全な経営をめざす。
- ① 今年度の稼働率は92%であった。目標の100%に近づけることは達成できなかったが、これからもご利用者、ご家族それぞれの意向に添える看取り介護を積み重ねることにより、ご利用していただける場所として併設のグループホームからの入居希望者だけでなく、外部からも地域福祉事業マナの家を知っていただけるようPRし、入居へつなげ稼働率を高めたい。
- (7) 感染症対策を行いながら、外出の機会を増やし、生活の質を高めていく。
- ① 毎日、朝の体温やサチュレーション測定を実施。声掛けしながら体調や数値確認を行い、生活を支援した。外出については定期受診時に車で海岸線をドライブしてくるなどして気分転換を図るなど試みた。
 - ② 介護度の高いご利用者については、居室やみんなの家からマナの家の庭に咲く花や野菜の成長を眺めていただき、四季を感じていただいた。

	65歳未満		65～69歳		70～79歳		80～89歳		90～99歳		100歳以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
介護度なし													
要支援1													
要介護1								1					1
要介護2													
要介護3													
要介護4													
要介護5										1			1
計								1		1			2
最高年齢	99歳												
最低年齢	81歳												
平均年齢	90歳												
平均介護度	要介護3												

性別 区分	男性	女性	計
1年未満	0	0	0
1年～3年未満	0	0	0
3年～5年未満	0	1	1
5年～7年未満	0	1	1
計	0	2	2

区分		性別		2022年								2023年			計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
入居	男													男	0	
	女													女	0	
退居	男													男	0	
	女									1				女	1	
主な退居理由		・12月に2年2か月入居の方が大腸癌のため死亡。														

※たまり場は2022年度は休止

※みんなの食堂をお弁当方式(夕食)で開催

開催日	参 加 者 人 数							メニュー・特記事項
	お弁当食数				関係者			
	大人	子ども	未就学児	合計	ボラン ティア	スタッフ	講師そ の他	
4月25日	59	17	15	91	4	4	1	メニューは春野菜カレー、竹の子の天ぷら、かき揚げ、フキの ピリ辛炒め等 JA新潟共済連、いっぺこーとからの食材提供今年度も実施あり。
5月23日	58	17	15	90	5	4	1	メニューは手作りコロッケ、根菜炒め、小松菜のおひたし等 ボランティアの方も増えたので、午前、午後で時間をずらしなが ら密を避けて手伝っていただく。 中高生の予約もあり。
6月27日	68	21	14	103	5	4	2	メニューは酢どり、塩昆布和え、温野菜等 敬和学園大学社会福祉士実習生1名受け入れ 関東日本フード、中央ヤクルトから食材の寄附あり。
7月25日	73	21	17	111	5	4	1	メニューはハンバーグ、揚げびたし、かぼちゃサラダ等 今回は中央ヤクルトから食材の寄附あり。参加の方へお配りす ると喜ばれる。
8月22日	76	24	20	120	6	4	1	メニューは鶏肉のフリッター、野菜のカレー炒め、かぼちゃのそ ぼろあんかけ等 子どもたちへアイス券プレゼント行う。 予約数が増えてきており、1家族大人お弁当2個までにさせて いただく。子どもは人数分可能とした。
9月26日	79	28	19	126	4	4	1	メニューはホイコーロー、煮物、甘酢和え等 アイス券配布した地域の方がお弁当でも利用された。
10月24日	76	26	19	121	4	4	1	メニューは大人サバの甘酢あんかけ、きんぴら、胡麻和え等。 子どもは鶏肉のケチャップ煮、煮玉子、かぼちゃサラダ等。中 央ヤクルト販売から食材の寄附あり。大人と子どもでメニュー が違うため盛り付けに混乱が生じた。
12月19日	68	25	19	112	5	4	1	メニューはローストチキン、人参しりしり、彩サラダ等クリスマス メニュー用意する。東日本フードから鶏肉、青果協会からリン ゴなど寄付もあり。伊勢丹の労働組合からのフードドライブで 集まったお菓子やのり、チョコなどくじでお渡しする。大雪のため キャンセルやボランティアの帰宅時間早めるなど対応した。

1月23日	65	23	17	105	4	4	0	メニューは手作り肉シュウマイ、大根ステーキ、人参サラダ等 講師が欠席のため段取りや調理に時間がかかった。ボランティアの皆さんが時間を伸ばして協力してくださった。
2月27日	74	26	17	117	4	4	1	メニューは手作りカレーコロッケ、やまぶき和え、カブのコンソメ煮等 地域のコミュ協便りに掲載されたため新規の方も増えた。農園から人参の寄付あり、お弁当と一緒に渡す。
3月27日	72	21	18	111	5	4	1	メニューは桜エビご飯、野菜のそぼろ煮、ぎせい豆腐、酢味噌和え等 彩よく、手渡しの際に皆さん喜ばれた。
								※JA共済連新潟、いっぺこーとより野菜、肉、米の食材提供毎月あり。お弁当の表示はグループホームご利用者が色付けしてくださる。
計	768	249	190	1207	51	44	11	

<イベント>

8月22日

アイス券プレゼント(子どものいばしょ応援プロジェクト助成活用)

※コンビニでアイス(4種から)と交換できる券

食堂参加子ども45人、地域の小学生以下のこども30人分用意

協力 敬和学園大学応援プロジェクト、セブンイレブン有明店

福祉の会の方と職員と一緒に地域の子ども宅へ届けた。

11月3日

からし種の会小規模福祉バザー出店

手作りパン(4種)、おはぎ、さつま芋ご飯、唐揚げ、玉こんにゃく、たこ焼き

五目御飯

12月19日

クリスマスプレゼント(子どものいばしょ応援プロジェクト助成活用)

※ポケットティッシュ、お菓子の詰め合わせ

食堂参加子ども44人、地域のこども33人分用意

協力 敬和学園大学応援プロジェクト(ラッピング、カード作成)

福祉の会の方と職員と一緒に地域の子ども宅へ届けた。

<外部研修等>

2月8日

「令和4年度西区子育て支援者交流会～ゲートキーパー研修会～」

(西区健康福祉課主催)

2名参加

○5月みんなの食堂開催時たまり場の再開についてのアンケート依頼する
50人配布、30人分回答あり。(20代から70代以上まで回答)